

女性委員会セッション

テーマ

和室について報告

運営 女性委員会

女性委員会では平成27年度に25周年を迎え、「未来へつなく居住環境づくり」をテーマに全国女性建築士連絡協議会を開催しました。

平成28年度はそのテーマを引き継ぎ、奈良県にて全国の建築士会および学生に対して実施したアンケート結果をもとに、和室や和の要素を改めて見直すことをテーマに「日本の暮らし 豊かな生活文化の再発見」として開催いたします。

先人の築いた知恵と工夫を見つめ直し、美しい日本の住まいのあり様を次の世代に引き継ぐことについて協議した結果を踏まえ、全国大会ではキーワードとなっている地域の創生をベースに、女性委員会で



昨年の大会セッションにて

取り組んでいる超高齢化社会を見据えたこれからの「日本の暮らしのあり方」についての取り組みを考えます。

日時...平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD...2単位)

会場...別府国際コンベンションセンター ピーコンプラザ1階 中会議室

定員...200名(予定)

防災まちづくり部会セッション

テーマ

災害多発時代に どう向き合うか

運営 防災まちづくり部会

東日本大震災から5年。これまで多くの建築実務家が被災地に入り、さまざまな立場で復興に携わり具体的な提案を行いました。しかし、優れた提案も行政や住民に信頼されず、受け入れられない結果となっています。

会誌『建築士』3月号では、三井所会長をはじめ連合会の関係者、まちづくり、防災の専門家を交えて、「災害多発時代にどう向き合うか」について話し合いました。そのなかでは、建築士は、住まいや生活環境づくりを通して地域住民の暮らしを支える大きな役割がある。だからこそ、建築士や建築士会が行政や地域住民と「普段づきあい」することの大切さが強調されています。



座談会「災害多発時代にどう向き合うか」より

そこで防災まちづくり部会では、部会委員の所属建築士会が実践してきた防災活動の取り組み事例を発表・検証しながら、テーマについて議論を深め、次の活動につなげたいと考えています。

日時...平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD...2単位)

会場...別府国際コンベンションセンター
ピーコンプラザ3階 小会議室31

定員...120名(予定)

福祉まちづくり部会セッション

運営 福祉まちづくり部会

国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、地域包括ケアシステムを実現するとされています。地域包括ケアシステム施策で中心とされる「住まい」に関しては、住宅のバリアフリー化のほかにも、心身のケア・リハビリや、地域ケアの円滑な利用に役立つ部屋・設備の配置・温熱環境・色彩など「新しいバリアフリー」の考え方のような要介

護者の暮らしを支える改善が重要となります。

要介護者の心身の特性に配慮した設計とするためには、医療・介護専門職との連携は不可欠であり、改善提案を行う建築士が、地域包括ケアシステムを担う地域資源のひとつとして位置づけられることが重要です。そのための今後の方策を、活動事例報告や各方面からの専門家、参加者からの意見を交えながら協議します。皆様の参加をお待ちしています。



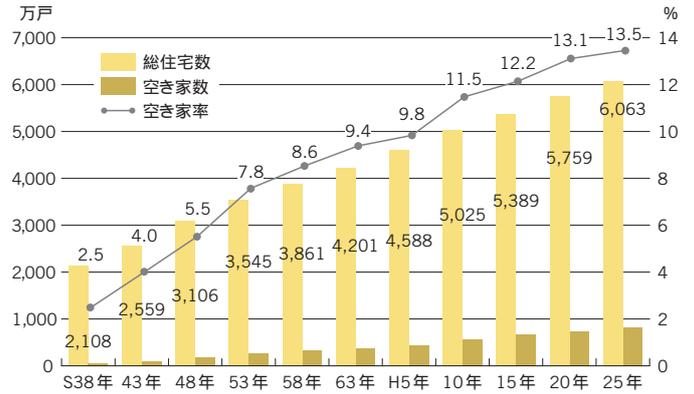
街中(空き家)まちづくり部会セッション

運営 街中まちづくり部会

全国的な課題となっている「空き家」。会誌『建築士』でも昨年6月号で特集が組まれました。「建築甲子園」も「地域のくらし 空き家を生かす」という課題で、建築をめざす高校生に、「空き家」についての諸解決策や考えを問いました。また、昨年度の全国まちづくり会議でも、全国から集まった各单位建築士会のまちづくり委員長などが、空き家も含む歴史的建造物の利活用のために知恵を絞り、議論されました。

連合会では、2015年度に「街中(空き家)部会」が立ち上がりました。連合会の持つ全国のネットワークで国交省事業の「空き家適正管理補助事業」の採択を受け、年度内にその事業(「建築士会等による空き家の適正な管理方策検討事業」)の成果を提出したところです。建築士が地域の中で「空き家」を新たなビジネスの領域として広げられるかといった視点による研究と、これからの実践の提案でした。

今回は、前述に挙げたさまざまなことから、これらに関与した人々の報告を聴き、自らの地域での課題解決に一石を投じたいと思います。



空き家の年間推移(総務省HPより)

日時...平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD...2単位)

会場...別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザB1階 リハーサル室

定員...210名(予定)

青年委員会セッション

テーマ

地域実践活動報告

運営 青年委員会

全国で展開している青年層建築士の地域実践活動をブロックごとに選出し、一同に発表します。各地域での建築に関する認識を深め、また、「地域に根づく建築士」としての周知を含めた活動事例を参加者で共有し、今後に向けた活動の問題点の協議、ブラッシュアップを兼ねたワークショップを行います。着目は各地域によりさまざまですが、これからの建築業界に向けた一般参加型事業や、防災・環境・福祉など地域の方々と考える事業、建築士のスキルアップにつながる事業など、参加される方にとって、気づきがある時間となるような企画を行います。

また、発表事例を参加者で吟味し、優れた事業に対する表彰を行うことにより、発表者のアピール力、情報のまとめ方など「建築士×伝える



発表風景イメージ(昨年度大会より)

力」を実際に見て感じていただくものとなるよう企画を進めています。これからの建築士・建築士会を担う青年建築士の発表をお楽しみください。

日時...平成28年10月22日(土) 9:00~12:00(CPD...2単位)

会場...別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザ2階 レセプションホール

定員...450名(予定)

日時...平成28年10月22日(土) 10:00~12:00(CPD...2単位)

会場...別府国際コンベンションセンター
ビーコンプラザ3階 小会議室32

定員...45名(予定)

地域包括ケアシステムのイメージ(厚生労働省資料より)

